

連続セミナー

# 「科学・国家・人種」

5/7

木 18:30~20:00

竹沢泰子 (京都大学人文科学研究所 教授)

「科学・国家・人種—イントロダクション」

坂野 徹 (日本大学経済学部 教授)

「「縄文人」と「弥生人」—日本考古学に於ける「人種」」

5/14

木 18:30~20:00

日下 涉 (名古屋大学大学院国際開発研究科 准教授)

「人種と科学から生を奪い返す—アメリカ期フィリピンのハンセン病者」

5/21

木 18:30~20:00

石井美保 (京都大学人文科学研究所 准教授)

「インドにおける身体への贈与と共同性」

5/28

木 18:30~20:00

関口 寛 (四国大学経営情報学部 准教授)

「帝国日本の〈内なる他者〉と科学的人種主義」

6/4

木 18:30~20:00

アルノ・ナンタ (CNRS フランス国立科学研究センター 准教授)

「科学者の「人種」概念批判と保身—フランスの事例から」

**場所：京都大学人文研本館・セミナー室1**  
**無料・予約不要**

主催 | 京都大学人文科学研究所 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

お問い合わせ | 京都大学人文科学研究所 総務掛 TEL: 075-753-6902

http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp メールアドレス: z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp



# 「科学・国家・人種」

「人種」概念は、歴史上、特定の集団に対する様々な差別・排除をつくりだしてきた。人種の生物学的実在性が否定されているにもかかわらず、今もなおレイシズムへの暗い欲望に囚われた人々が社会に亀裂を走らせる。本セミナーでは、人類学、考古学、ゲノム科学、衛生学、犯罪学などが生みだしてきた人種をめぐる言説に着目し、人種概念がこれら諸科学の中で占める位置や、科学的言説と社会・国家との関係を考えてみたい。



坂野 徹 (さかの・とおる)

日本大学経済学部 教授  
 専門: 科学史・科学論  
 主な著書: 『帝国日本と人類学者——一八八四—一九五二年』



竹沢泰子 (たけざわ・やすこ)

京都大学人文科学研究所 教授  
 専門: 文化人類学  
 主な著書: 『人種の表象と社会的リアティ』



日下 渉 (くさか・わたる)

名古屋大学大学院国際開発研究科 准教授  
 専門: 政治学・フィリピン研究  
 主な著書: 『反市民の政治学: フィリピンの民主主義と道徳』



石井美保 (いしい・みほ)

京都大学人文科学研究所 准教授  
 専門: 文化人類学  
 主な著書: 『精霊たちのフロンティア—ガーナ南部の開拓移民社会における“超常現象”の民族誌』



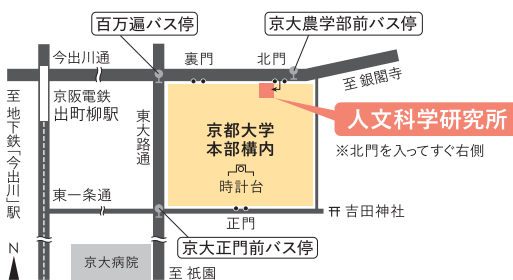
関口 寛 (せきぐち・ひろし)

四国大学経営情報学部 准教授  
 専門: 歴史社会学  
 主な著書: 『近代日本における《内なる他者》』シリーズ『人種神話を解体する』第二巻(近刊)



Arnaud Nanta (アルノ・ナンタ)

CNRS フランス国立科学研究センター 准教授  
 専門: 日本近現代史  
 主な著書: 『科学者の「中立的立場」と人種主義への加担: アンリ・ヴァロワの活動を中心に』シリーズ『人種神話を解体する』第二巻(近刊)



●市バス 17、203系統「京大農学部前」下車徒歩1分 / 31、201、206系統「百万遍」下車東へ徒歩5分  
 ●京阪電車「出町柳」下車東へ徒歩15分 京都大学 北門入ってすぐ右  
 \*駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

## ●特別シンポジウム

### 戦後70年

第二次世界大戦の終結と脱植民地化  
 —イタリア植民地を事例に

講師 | テケステ・ネガシュ / 水野直樹 / 藤原辰史

日時 | 2015年5月12日(火) 18:30-20:00

場所 | 人文研本館・セミナー室1

共催 | 科学研究費基盤A「兵士・労働者・女性の植民地間移動にかんする研究」(代表者: 永原陽子)

上智大学イスラーム研究センター、早稲田大学イスラーム地域研究機構

次回予告